

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[手順](#)

[関連情報](#)

概要

さまざまなベンダーが、特定のニーズを満たすために標準の属性と値のペア (AV ペア) を拡張しました。 シスコによって導入された AV ペアは総称してベンダー固有属性と呼ばれ、そのうちの 1 つが Cisco AV ペアと呼ばれます。

この資料にユーザ プロファイルに複数の Cisco AV ペア、か複数値アトリビュートを、追加する方法を説明されています。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Solaris 8
- Access Registrar 3.0R8

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。 ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

手順

Cisco AV ペア、か複数値属性は、一つずつ追加することができません。 、場合他を上書きするので最後の AV-pair 一つずつ追加された、かアトリビュートだけ残ります。

使用するべき正しい構文は次のとおりです:

注二重引用符は値にそれで領域がなければ絶対に必要ではないです。この場合、二重引用符は必要ではないです。全体のコマンドは1つの行で入力されなければなりません。それは空間的な原因でこの資料の第2行にラップされました。

これは方法の例 aregcmd でステップを実行するです:

```
--> cd /Radius/Profiles/default-PPP-users/Attributes/[ //localhost/Radius/Profiles/default-PPP-
users/Attributes ]Ascend-Idle-Limit = 1800Framed-Compression = "VJ TCP/IP header
compression"Framed-MTU = 1500Framed-Protocol = PPPFramed-Routing = NoneService-Type = Framed!---
This command is brought down to a second line !--- for spatial reasons. Keep this command on one
line when you !--- enter it.--> set Cisco-Avpair "vpdn:l2tp-tunnel-password=XYZ" "vpdn:tunnel-
type=l2tp" "vpdn:tunnel-id=tunnel23" "vpdn:ip-addresses=10.10.10.1"!--- This command is brought
down to a second line !--- for spatial reasons. Keep this command on one line when you !---
enter it.Set Cisco-Avpair vpdn:l2tp-tunnel-password=XYZ vpdn:tunnel-type=l2tp vpdn:tunnel-
id=tunnel23 vpdn:ip-addresses=10.10.10.1--> ls[ //localhost/Radius/Profiles/default-PPP-
users/Attributes ]Ascend-Idle-Limit = 1800Cisco-Avpair = vpdn:l2tp-tunnel-password=XYZCisco-
Avpair = vpdn:tunnel-type=l2tpCisco-Avpair = vpdn:tunnel-id=tunnel23Cisco-Avpair = vpdn:ip-
addresses=10.10.10.1!--- All av-pairs are successfully added.Framed-Compression = "VJ TCP/IP
header compression"Framed-MTU = 1500Framed-Protocol = PPPFramed-Routing = NoneService-Type =
Framed
```

関連情報

- [Cisco アクセス レジストラ サポートページ](#)
- [TACACS+ 属性値ペア](#)
- [RADIUS 属性値ペア](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)